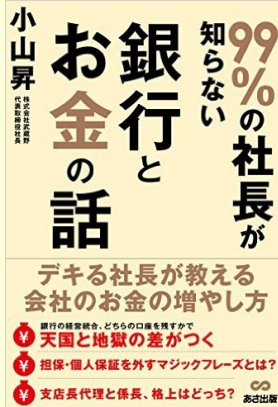


やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



99%の社長が知らない銀行とお金の話 / 小山昇(著)

-Amazonより内容紹介-

著者が、これまで600社以上の企業を指導してきたなかで、ほぼすべての社長に共通していることがあります。それは——「お金の見方が間違っている」「お金のことを教えてくれる先生がいない」です。お金は、命の次に大切なものなのに、多くの社長は、あまりにも無知で無策だと、著者は喝破します。「地方銀行研修所」で、支店長になる銀行員を相手に講師を務めるなど、銀行マンからも一目置かれる著者が、多くの経営者が知らないけれど、絶対に知っておくべき、銀行とお金のお話をまとめました。

◎お金のことを知らないのは「おっかねー」(笑)

序章の一言から爽快です。『借入は罪悪だ、と考える社長は、今すぐ足を洗いなさい』理由は、赤字でも会社は潰れないが、お金が無くなれば会社は潰れるからです。なんとなく分かっていますが、現場のリアルな経営者からの言葉はずっしり来ますね(^_^)

日本の銀行による、会社代表の個人保証はやめて欲しい制度です。だって、会社(法人)と、個人は別物なので、なぜ経営者個人に保証をさせるのか?この業界に入っていから、いつも不思議に思っています。ただ単に、銀行のリスクヘッジに過ぎません。こういうことをするから、企業の成長の足かせになっているのです。

ただこの著者の小山社長は違います。ほとんどの借入を「個人保証無し」で借入しています。その具体的な方法がこの本に書かれているのです。自分で経験して、他の人にコンサルしてきたものですので、結構リアルです。

僕自身は、中小企業が個人保証無しで借入をしているのは、ほとんど見たことがありません。上場企業か、上場企業の子会社、もしくはかなり大規模な中堅企業くらいでした。それくらい実務では、ほとんど保証無しで借入れすることは一般的ではありません。

ですから、当事務所もこちらのサポートは力を入れていきます!やはり、個人保証が無いのであれば、経営者は思い切って事業投資できますし、万が一があっても、復活してやり直すことは可能ですからね。ここ最近になって、国も重い腰を上げたみたいで、「経営者保証に関するガイドライン」というものを発表しました。要するに、「銀行さん、経営者保証無しで借入を勧めてね、また、企業から保証を外す打診があれば、検討してね。」というものです。しかし、現場ではこの流れはまだまだです・・・。

今後は進んで行くことを期待したいですね。ちょっと宣伝になりましたが、中小企業の経営は、借入無しでは成長が遅くなります。銀行に言われるがままにするのではなく、銀行も一取引先として、きちんと交渉をすべきです(^O^) / この本を読んで、ぜひその辺りを勉強下さい!